

ことばのテーブル 100枚プリント

第23集

助詞・動詞穴埋めワーク

解説

ことばのテーブル100枚プリント第23集「助詞⇔動詞穴埋めワーク」をお買い上げいただきありがとうございました。このワークは、助詞と動詞の習得を目的とした教材です。文章を読み、()の中に適切な助詞と動詞を埋めていきます。文脈・文法・連語関係などを手がかりとして、助詞・動詞の推測と想起を促します。

【構成】※「問題リスト」参照のこと。

◎問題は、I.助詞穴埋め課題(50問)と、II.動詞穴埋め課題(50問)で構成されています。

●課題Iと課題IIは、各番号でペアになっており同じ文章が使われています。一方は助詞を入れ、一方は動詞を入れていきます。例：課題I-①タイトル「フェリー」⇔課題II-①タイトル「フェリー」

●課題Iと課題IIは、各番号のペアを、それぞれの解答例として用いることができます。

例：課題I-①あるところ()広い野原()ありました。⇔課題II-①：あるところに広い野原が()ありました。

【使い方・進め方】※「ワークの使用例・ワークの進め方」参照のこと。

I.助詞穴埋め課題 (【()の中に助詞を入れよう】)

問題の文章を読み、()で助詞が抜かれている部分に、適切な助詞を入れていきます。

II.動詞穴埋め課題 (【()の中に動詞を入れよう】)

問題の文章を読み、()で動詞が抜かれている部分に、適切な動詞を入れていきます。動詞に後続する助詞・助動詞につながるように、活用形を書き込みます。例：雪が(ふつ)ておりました。

※課題I・IIとも各問題間での難易度の差はありません。番号順にこだわらず取り組んでいただけます。

※また課題Iと課題IIは異なる学習のため難易度を比べることはできませんが、文からの推測という点では、動詞の方が難しく、助詞穴埋め課題を行って文に触れてから動詞に取り組んだ方が解答しやすいと思われます。

【対象】この教材を開始するにあたって、学習者には以下の能力が必要です。

①文字能力に関して

ひらがなの文レベルの読解能力が必要です。(※漢字にはすべてルビが振られています。)書字については、ひらがな単語の書字能力が求められます。

②語彙能力に関して

問題文読解のための日常基本単語の理解力が必要です。また動詞の穴埋めについては、小学校低学年程度の動詞の語彙が必要と思われますが、それらを学習することがワークの目的でもあります。

③読解能力・文法能力について

問題文を理解するために、小学校2～3年生の教科書程度の文章読解力が必要です。また助詞の穴埋めについては、100枚プリント第16集「がでにを練習ワーク」《*2語の助詞連結 例：はさみ(で)切る》が正答できる程度の能力が必要です。学習者の年齢や社会的知識の有無にもよりますが(④社会的知識について、参照のこと)、「がでにを練習ワーク」終了後の課題として取り組んでいただければと思います。

④社会的知識について

問題文の理解および助詞・動詞の穴埋めには、社会的知識や経験が必要とされます。未就学児や小学校低学年の子どもにはそれらの乏しさによって、文章理解や解答が難しい場合もあると思われます。

【この教材の目的と意義】 *「ワークの特徴・考え方」をご参照ください。

①助詞と動詞の関係性への注目 ②文脈の中での語の推測 ③文章の持つプロソディの援助

☆ことばのてーぶる100枚プリントについて

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルは、この教材集を指導室での学習や家庭で行うホームワークとして使用しています。

※教材集の無断複製・販売は、ご遠慮ください。

葛西ことばのテーブルは、発達障害や言語障害の方のための学習室です。

《製作 葛西ことばのテーブル》

○責任 三好純太 ○製作スタッフ 島本佐保

134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail: QYT07571@nifty.ne.jp

□ この教材集に対するご意見・ご感想・ご要望をお聞かせください。